

# 緑が丘

令和8年5月1日発行 三木市立緑が丘小学校



## 遊び あそび アソビ ~ ひとりで みんなで~

新緑が目まぶしく、何をするにも気もちのよい季節。まさに緑風の中、運動場で遊ぶ子どもたちのエネルギーがアップしています。

「先生、見て」の声！ジャングルジムやブランコ、タイヤに1年生の姿。できること、いっしょにしてほしいこと、順番を待ちつつもダメだと思つと「アカン、次いこ。」と次の遊びを探すなど、思いを言葉と動きで示し、たくましさを感じられます。小学校という場所に慣れ、少しずつ居場所を確保していく姿が嬉しい限りです。

さて、「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」(ロバートフルガム 著)という本があります。30年以上前から読み継がれている本なので、タイトルに聞き覚えがある人も多いのではないのでしょうか。この本はエッセイ集で軸になる重要なメッセージは、ほぼ2ページに凝縮されています。例えば「なんでも皆と共有し、ずるをせず、人を叩かず、使ったものは片づけ、人のものは使わないこと、誰かを傷つけたら謝ること」。幼少期に子どもが、様々な場で学んでいくことです。幼い子どもがたくさん遊んでいる砂場や公園は他の子どもたちとトラブルになるので避けたいこともあります。が、「誰かを傷つけたら『ごめんなさい』をいうこと」などを身をもって学べる場所です。そして、それぞれ、その場をおさめるための場当たりの対応や考えでなく、**生涯を通じて子どもを助ける知恵となるかどうか**がポイントです。手や体の感覚を刺激し、身近なものを使った道具遊びも容易で、簡単に形が変えられるから創造性も発揮しやすく、ごっこ遊びやゲームにも最適な遊びです。環境等の問題や生活、遊びの変化もあり、砂遊びをしている姿をあまり見なくなりました。が、これは、砂遊びだけにいえることではありません。今、一人で、みんなで遊んでいる子どもたちの言葉にたくさんの知恵を感じます。子ども同士、どんな話をしているのか、耳を傾けながら、一緒に楽しい時間をお過ごしください。

連休が始まります。外出、遠出のチャンスですが、スマホやタブレットからも距離をおき、ちょっと気になる本に目をおすのもよいかもしれません。お金もかかりません。お子様と一緒に近くの図書館に足を運んでいただき、一緒に、各々の好きな本に向き合う時間もいいですね。たった5日ですが学校とは違う場所、環境でリフレッシュ&ブラッシュアップし、登校してくる顔が楽しみにしています。もう1冊、「人生に大事なことは **みんなゴリラに教わった**」(山極寿一)も、おすすめです。



連休後は運動会に向けた学習が本格化します。今年度のテーマは「**ベストを尽くせ！仲間と共に最高のしゅんかんを！！**」。

子どもたちが仲間とともに、どんな最高の瞬間を創り出すのかを楽しみに、ベストを尽くせるよう応援していきます。

(校長 佐野 順子)

はなのみち  
あげは ゆりこ

ああふわり かぜのなか  
おおひらり はなのみち  
こちらから むこから  
ともだちが であいます  
  
ああふわりこんにちは  
おおひらり きれいだね  
おどろうよ くるくると  
かぜのなか はなのみち



くどうなおこ「のはらうた」より

